

## 『サキグロの産卵始まる』

水産技術総合センター  
 仙台地方振興事務所水産漁港部

本日(18日)、松島湾の東名、福浦島及び桂島潮干狩り場でサキグロタマツメタの卵囊が発見されましたのでお知らせします。福浦島の卵囊内はどれもまだ、発生が進んでいない受精卵～桑実胚であることから、ここ数日以内に産み付けられたものと思われます。桂島の卵囊内もほとんどは受精卵～桑実胚でしたが、一部、卵囊内で初期幼生まで発生の進んだものもありました。

なお、今後も産卵は続くと思いますが、できるだけ早く駆除をするようにして下さい。日中に干潟が干出しない場合でも、胴長を着用すれば駆除できますし、小型の船上からも玉網ですくえますので時機を逸しないよう注意して下さい。卵囊1個から数百から数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食します。



桂島で採取した卵囊の一部

採取場所	卵囊採取数	幼生のステージ	採取時間
東名	7個	桑実胚	15分(6人)
福浦島	5個	桑実胚	15分(6人)
桂島	123個	卵～桑実胚	15分(4人)



福浦島では殻長12～22mmのサキグロタマツメタを15分(6人)で206個採取しました。

採取されたサキグロタマツメタは比較的小型の物が多いことから、この地域では再生産が盛んに行われていると思われます。